

第57期 第3四半期事業報告書

2003年10月1日から2003年12月31日まで

オートバックスセブン株主通信 Vol. 6



Show Get-key

しょうげき～衝撃～



目次

	トピックス	1
	ごあいさつ	2
	なぜなにオートバックスグループ ● vol. 4 「トータルカーライフサポート」戦略	3
	カー用品情報 ● バッテリーの基礎知識	5
	ARTA 活動報告	6
	財務報告	7
	株式情報	11
	会社情報	12
	社会活動	13
	オートバックスグループ ホームページのご紹介	14

トピックス

2003年11月 「AUTOBACS BUKIT BATOK(ブキバト)店」 (シンガポール)がリロケーションオープン

2003年11月29日、シンガポールの「AUTOBACS PAYA LEBAR(パヤレバ)店」が、「AUTOBACS BUKIT BATOK店」としてリロケーションオープンしました。売場を拡張した新店舗は、タイヤ・アルミホイールコーナーが2倍に拡がり、同国最大級の品揃えを誇っています。



また政府認定の修理工場資格を取得しており、商品の取り付けから修理まで充実したピットメニューの提供でお客様の幅広いニーズに対応しています。

住所：30 Bukit Batok East Avenue 6, Singapore 659761
電話：+65-749-5600

2004年1月 アコム株式会社との提携カード「TOTAL CAR LIFE MasterCard®」の発行を開始

2004年1月より、「TOTAL CAR LIFE MasterCard®」の発行を開始しました。入会金・年会費無料の同カードは、無料ロードサービスや、オートバックスのギフトカードと交換できるポイントサービスなどの価値ある特典を備えています。既存のポイントカード会員ならびに新規会員の加入により、お客様の固定化推進が期待されます。全国のオートバックスとスーパーオートバックスにてお申し込みいただけます。

※一部、導入が遅れる店舗もございます。



ごあいさつ

株主の皆さまにおかれまして、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊社への理解を深めていただくことを目的に、2002年6月より新たなコンセプトでスタートした株主通信「Show-Get Key」も、今号でVol. 6を数えることとなりました。毎号当誌では、弊社の業績や事業の最新動向、さらには商品情報やレース活動報告など多彩な情報をお伝えしておりますが、お役立ていただいておりますでしょうか。今号におきましても、2004年3月期第3四半期決算のご報告をはじめ、「トータルカーライフサポート業」の実現に向けた新たな取り組みをご紹介します。私たちの、未来へつながる着実な歩みを感じ取っていただければ幸いです。

弊社の長期的な成長戦略である「トータルカーライフサポート業」への進化も、次第に具体性を増しつつあります。車検・整備事業においては、受付から検査までを自店舗で完結できる指定認証工場資格の取得店舗数を増やしました。またカーコンビニ倶楽部株式会社と業務提携し、同社の受注・見積りシステムを利用した「早・技板金」サービスの店舗導入を開始しています。一方、車販売事業では、「オートバックス・カーズ」専用端末の店頭設置を進めました。最近の話題としては、燃料と利用頻度の高いカー用品を取り扱う「オートバックス・エクスプレス」業態で、コンビニエンスストア併設など、店舗の実験的設置を行いました。これら一連の事業展開により、お客さまとの接点や提供するサービス領域は着実な広がりを見せています。従来ではカバーしきれないニーズを持つ客層にもアピールし、新たなお客さまが増えていくものと期待しています。

前号Vol. 5で実施致しました株主さま向けアンケート(第二回)では、多くの皆さまから回答をお寄せいただきました。忌憚のない貴重なご意見をいただき、厚く御礼を申し上げます。今後も、株主の皆さまやお客さまの声に耳を傾け、同時に積極的な情報開示で弊社の考えを適時ご説明することで、透明性の高い経営を行って参る所存です。皆さまには、引き続きオートバックスグループへの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2004年3月

住野 公一

代表取締役 CEO

住野 公一



なぜなに

オートバックスグループ

Vol. 4 「トータルカーライフサポート」戦略

お客さまの車に関わるあらゆる生活シーンに携わっていきたい。「トータルカーライフサポート業」への進化を標榜するオートバックスグループは、その実現に向けた施策を着実に展開しています。今回は、私たちが目指すグループの姿、そして事業やサービスの方向性をご紹介します。



「トータルカーライフサポート業」への進化

いまや車は、ただの移動手段としての道具ではなく、人々の生活や文化にも深く根付いた存在になっています。車を所有する意義や目的はひとそれぞれに異なることから、そこには十人十色のカーライフを見出すことができます。

オートバックスグループは、これまで車を持つお客さまへのカー用品販売・取り付けなどを主力事業に成長を遂げてきました。しかしこれからは、車に関わるさまざまな生活シーンで活躍できる企業グループでありたいと考えています。「トータルカーライフサポート」戦略はその実現に向けた道筋を示すものであり、オートバックスグループの長期的な成長に不可欠なのです。

カーライフサイクルとオートバックスグループの事業展開

オートバックスグループの「トータルカーライフサポート」戦略は、車のライフサイクルに対応するかたちで進められています。一般的に車を購入したお客さまは、日常的な燃料(ガソリン、軽油など)購入にはじまり、好みや必要に応じてカー用品(アクセサリ、AV機器など)の購入・取り付け、消耗品(エンジンオイルなど)の交換、そして定期点検や車検・整備を繰り返すこととなります。さらに大きなサイクルで見れば、免許の取得や車の買い換えがあります。

現在オートバックスグループでは、右ページの図に示した通り、一連の「カーライフサイクル」、そして個々の「カーライフシーン」で独自のサービスを提供できる事業基盤づくりに取り組んでいます。株主の皆さまには、これからも適宜「トータルカーライフサポート」戦略の進捗状況をご報告して参ります。

オートバックスグループのトータルカーライフサポート

カーライフサイクル

免許取得

車両購入

燃料

カー用品

車検・整備
定期点検
修理

買い換え

オートバックスグループとの関わり

教習所



2003年8月より、株式会社多摩ドライビングスクール（東京都日野市）で、教習所の運営を行っています。お客さま囲い込みの試みで、後の車両購入、カー用品や燃料などにつながるビジネスです。

新車・中古車販売
カスタムカー販売



グループ各店舗には、中古車販売コーナー「オートバックス・カーズ」を設置。専用端末を利用し、約3万台の在庫より希望するクルマが検索できます。また、新車の販売も開始しました。

燃料販売



利用頻度の高い消耗品販売と比較的簡単なメンテナンスサービスを組み合わせた、セルフサービススタイルのガソリンスタンド「オートバックス・エクスプレス」を出店しています。2003年8月、コンビニエンスストアを併設した店舗もオープンしました。

カー用品販売
／取り付け



「オートバックス」、「スーパーオートバックス」、「オートハローズ」では、カー用品の販売及び取り付けサービスを提供しています。また「オートバックス走り屋天国セコハン市場」では、中古カー用品の販売を行っています。

車検
一般整備
定期点検
板金

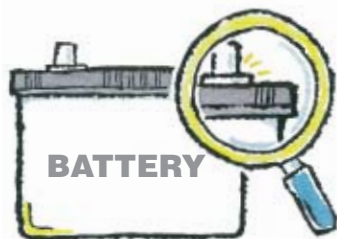


グループ各店舗では、ピットサービスの強化を図っています。車検・整備を、受付から検査まで自店舗で完結できる指定認証工場資格の取得店舗を増加させており、2003年12月末時点でその数は141店となりました。

あらゆるカーライフシーンに対応

バッテリーは、エンジンの回転により電気を充電し、ヘッドライトやワイパー、カーオーディオなどに電気を供給する充電池の役割を果たしています。今回のカー用品情報では、バッテリーの基礎知識をご紹介します。

バッテリーの寿命は、使用状況にもよりますが約2～3年間です。年々高性能になり、寿命の直前までエンジン始動を行うことができるため、「突然バッテリーがあがってしまった」というケースが急増しています。普段からのこまめなチェックと定期的な交換をおすすめします。

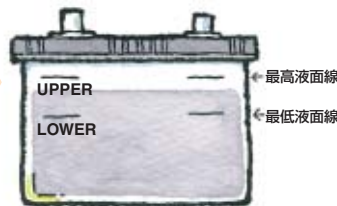


外観点検

本体の外観を目視で確認します。ヒビ、割れ、欠け、液漏れはありませんか？キャップの排気孔には、ホコリを溜めないように注意します。

液面点検

バッテリーの中に入っているバッテリー液の水位を確認します。側面に表示されている最高液面線と最低液面線の間にありますか？



取り付け金具／端子の緩み点検

本体はきちんと固定されていますか？バッテリー端子とケーブル端子を固定しているナットは、常にしっかりと締めておきます。



スパナを、+、-の両極に同時に触れさせないようにご注意ください。ショートする恐れがあります。

豆知識

～形式の読み方～

ボンネットを開けてバッテリーを見てみると、上部に「形式」が表示されています。

(例)

55 B 24 R
① ② ③ ④

① 性能ランク

始動性能・容量。数値が大きいくらい、性能がよくなります。

② サイズ区分

本体の縦幅と高さを表す区分記号。Aが一番小さいサイズです。

③ 横幅

本体の横幅を、センチメートルで表示しています。

④ 十端子の位置

十端子が、本体の右(R)、左(L)のいずれにあるかを示します。

オートバックスグループ各店舗において、バッテリー液の補水が不用な「手間なしバッテリー」を取り扱っております。

バッテリーの点検や交換などのご質問、商品に関するお問い合わせは、オートバックスグループ各店舗のスタッフにお気軽にご相談ください。

ARTA活動報告

2004年度ARTAが始動

2004年1月9日、幕張メッセ・イベントホールにおいてARTAプロジェクト※1 2004年度の体制発表会が行われました。1998年の活動開始から数えて7年目となる今年度は、ARTAが掲げてきた「世界に通用するドライバーの育成」という目標に向けたこれまでの成果とともに、日本のモータースポーツ界の裾野を広げ発展させるための取り組みを明らかにしました。今年度よりプロジェクト全体のプロデューサーとなった鈴木亜久里氏の挨拶に続いて行われた監督ならびに選手の紹介では、各選手が今後の決意と意気込みを語り、集まった報道陣や関係者から暖かい拍手をいただきました。

中でも国内で最も人気の高いレースと言われるJGTC(全日本GT選手権)※2では、昨年までGT500クラスのドライバーと

して活躍していた土屋圭市氏が監督に就任し、GT500とGT300※3の両クラスを指揮していくこととなりました。ドライバーも国内トップクラスの布陣を敷いており、活躍が期待されます。また海外についても、アメリカのIRL※4を核にカート※5のイタリアンオープンマスターズに参戦する等、有望な日本人ドライバーを世界に送り出しています。

この他にも、今年度より開催する事となったカートのARTAチャレンジシリーズや10代を中心とした若手ドライバーのレース活動をサポートし、世界に通用するドライバーの育成を続けていきます。特にカートレースはモータースポーツの入門編とも言うべき種目であり、この新シリーズを支援し、より多くの将来性あるドライバーにステップアップの道標を提供しようとしています。

その他、国内モータースポーツの振興を目的に自動車関連企業約100社によって設立されたオートボックスモータースポーツ連絡協議会(amsc)についての説明や、2004年度ARTAギャルズ4名のお披露目もあわせて行われ、会場は暑い熱気に包まれました。



※1 ARTA(Autobacs Racing Team Aguri)プロジェクト：世界に通用する日本人ドライバーの育成をスローガンに、オートボックスが支援するモータースポーツ活動。元F1ドライバーの鈴木亜久里氏を中心に、国内外の主要なレースに参戦しています。

※2 JGTC：「全日本GT選手権レース(JAPAN GT CHAMPION SHIP)」の略称。日本自動車連盟(JAF)公認の自動車レースで、毎年数レースが日本各地で開催されます。年間トータルのポイントでシリーズ・チャンピオンが決定されますが、ドライバーの個人タイトルとチームに与えられるタイトルがあります。

※3 GT500、GT300：JGTCは、車両の最大出力を基準にしてGT500とGT300の2つのクラスに分かれてレースが行われます。前者はJGTCのトップクラスで最大約500馬力を基準とした車両が、一方後者は最大約300馬力を基準とした車両が対象となります。

※4 IRL：インディレーシングリーグ インディカーシリーズ(INDY RACING LEAGUE INDYCAR SERIES)の略称。アメリカを中心にオーバルと呼ばれる楕円形のコースで開催されている自動車レースで、F1と並ぶ歴史と格式を持つカテゴリ。すべての四輪モータースポーツの中でもっとも高速で、しかも毎戦エキサイティングな接近戦が繰り広げられています。

※5 カート：モータースポーツ界の登竜門に位置するのがレーシングカート。通常パイプフレームに、排気量100ccのエンジンが載ったシンプルな構造のマシンが使われ、国内外で活発なレースが展開されています。



2004年度ARTAプロジェクトの体制や、出場レースのスケジュールについては、下記URLに詳しく掲載しております。
<http://www.autobacs.com/motorsports/>(オートボックス/モータースポーツ)

財務報告

連結貸借対照表

単位：百万円

	第57期第3四半期 (平成15年12月31日現在)
(資産の部)	
流動資産	105,211
現金及び預金	30,801
受取手形及び売掛金	23,540
有価証券	6,258
たな卸資産	23,003
繰延税金資産	2,583
未収入金	17,290
その他	3,074
貸倒引当金	△1,340
固定資産	109,181
有形固定資産	60,887
建物及び構築物	26,598
土地	25,981
その他	8,307
無形固定資産	2,901
投資その他の資産	45,391
投資有価証券	14,373
長期貸付金及び長期差入保証金	28,560
繰延税金資産	3,483
その他	1,705
投資損失引当金	△800
貸倒引当金	△1,931
資産合計	214,392

	第57期第3四半期 (平成15年12月31日現在)
(負債の部)	
流動負債	44,789
支払手形及び買掛金	25,289
短期借入金	2,335
未払法人税等	3,218
その他	13,945
固定負債	21,010
社債	8
転換社債型新株予約権付社債	10,000
長期借入金	1,849
退職給付引当金	1,360
役員退職給与引当金	159
その他	7,633
負債合計	65,799
(少数株主持分)	
少数株主持分	531
(資本の部)	
資本金	31,958
資本剰余金	32,241
利益剰余金	88,426
その他有価証券評価差額金	104
為替換算調整勘定	△267
自己株式	△4,402
資本合計	148,061
負債、少数株主持分及び資本合計	214,392

- 注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額35,312百万円
 2. 1株当たり当期純利益145円07銭
 3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
 4. 資本の部の表示方法について
 商法施行規則の改正に従いまして、当期から資本の部の表示方法を変更しています。

連結損益計算書

単位：百万円

	第57期第3四半期まで (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)
売上高	182,461
売上原価	129,325
販売費及び一般管理費	46,271
営業利益	6,864
営業外収益	5,504
営業外費用	2,033
経常利益	10,335
特別利益	579
特別損失	903
税金等調整前当期純利益	10,011
法人税、住民税及び事業税	5,606
法人税等調整額	△817
少数株主利益	9
当期純利益	5,212

連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	第57期第3四半期まで (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,898
税金等調整前当期純利益	10,011
減価償却費	4,246
売上債権の増加額	△15,198
たな卸資産の増加額	△5,311
その他	15,394
小計	9,142
利息及び配当金の受取額	614
利息の支払額	△126
法人税等の支払額	△4,730
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,093
有形及び無形固定資産の 取得による支出	△5,934
有価証券・投資有価証券の 取得・売却	1,641
その他	1,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,429
長期借入金の返済による支出	△1,256
転換社債型新株予約権付 社債の発行による収入	10,000
自己株式取得による支出	△1,793
配当金の支払額	△1,297
その他	△222
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16
現金及び現金同等物の増加額	7,218
現金及び現金同等物の期首残高	23,437
連結子会社除外に伴う現金及び 現金同等物減少額	△12
現金及び現金同等物の期末残高	30,644

貸借対照表(単体)

単位：百万円

	第57期第3四半期 (平成15年12月31日現在)
(資産の部)	
流動資産	102,083
現金及び預金	28,603
受取手形及び売掛金	29,708
有価証券	6,258
たな卸資産	10,033
繰延税金資産	1,557
未収入金	16,629
短期貸付金	9,585
その他	1,480
貸倒引当金	△1,773
固定資産	112,600
有形固定資産	49,594
建物	20,973
土地	22,937
その他	5,683
無形固定資産	2,667
投資その他の資産	60,339
投資有価証券	12,631
関係会社株式	10,411
長期貸付金及び長期差入保証金	36,762
繰延税金資産	5,753
その他	1,349
投資損失引当金	△1,773
貸倒引当金	△4,795
資産合計	214,684

	第57期第3四半期 (平成15年12月31日現在)
(負債の部)	
流動負債	44,869
買掛金	23,113
短期借入金	665
未払法人税等	3,002
その他	18,089
固定負債	18,892
転換社債型新株予約権付社債	10,000
退職給付引当金	898
役員退職給与引当金	119
その他	7,874
負債合計	63,761
(資本の部)	
資本金	31,958
資本剰余金	32,241
利益剰余金	90,965
利益準備金	1,296
任意積立金	82,131
当期末処分利益	7,536
その他有価証券評価差額金	127
自己株式	△4,370
資本合計	150,922
負債及び資本合計	214,684

- 注) 1. 資本の部の表示方法について商法施行規則の改正に従いまして、当期から資本の部の表示方法を変更しています。
 2. 有形固定資産の減価償却累計額当四半期間26,035百万円
 3. 一株当たり純利益151円92銭
 4. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書(単体)

単位:百万円

	第57期第3四半期まで (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)
売上高	164,543
売上原価	131,002
販売費及び一般管理費	25,830
営業利益	7,709
営業外収益	4,833
営業外費用	930
経常利益	11,612
特別利益	595
特別損失	2,894
税引前四半期(当期)純利益	9,313
法人税、住民税及び事業税	5,187
法人税等調整額	△1,333
四半期(当期)純利益	5,460
前期繰越利益	2,714
中間配当額	638
四半期(当期)未処分利益	7,536

業態別店舗数

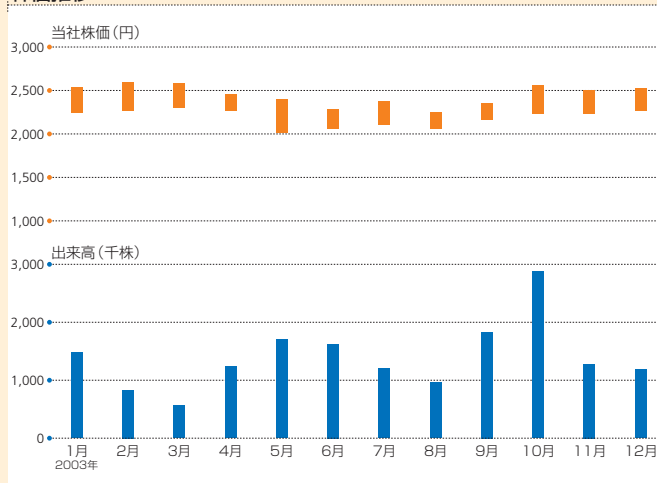
単位:店

	第57期第3四半期 (平成15年12月31日現在)
スーパーオートバックス:	50
 Type I	6
 Type II	44
 オートバックス	426
 オートハローズ [®]	16
 オートバックス・エクスプレス	4
 オートバックス走り屋天国セコハン市場	22
 オートバックス・カーズ [®]	15
海外(スーパーオートバックス、オートバックス)	11
合計	544

株式情報 (2003年12月31日現在)

発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	37,643,742株
株主数	14,080名
決算日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日
	利益配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日 なお臨時に必要なときは、あらかじめ 公告いたします。
1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所 ロンドン証券取引所
名義書換代理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
名義書換事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先電話照会先	東京都府中市日鋼町1番10(〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
住所変更等用紙のご請求	0120-175-417
その他のご照会	0120-176-417
名義書換取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

株価推移



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願い致します。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行(株)の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税を除く)のご利用につき1枚お使いいただける株主優待券(300円割引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている株主の皆さまにお送りしています。

ご参考

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株~999株 1,000株~
ご優待券25枚 50枚
- ご優待券は、車両車検時の税金など、車両本体、ガソリン・軽油・灯油、書籍およびCD・DVD・ビデオなどを除くお買物にご利用いただけます。
- ご優待券は現金およびオートボックスの商品券によるお買い上げ時にご利用いただけます。

※クレジット・ローンによるお買い上げの場合および有効期限(1年間)を超過したものはご利用いただけません。

会社情報

商号	株式会社オートバックスセブン (AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)
創業	1947年2月
資本金	319億5千8百万円
主な事業内容	カー用品の卸、小売り、取り付けおよびオートバックスグループ店舗のフランチャイズ展開

役員一覧 50音順

取締役 兼 執行役員 (オフィサー)

代表取締役

住野 公一 CEO

取締役

井手 秀博 エグゼクティブ・オフィサー
法人経営指導担当

住野 耕三 エグゼクティブ・オフィサー
新規事業開発担当

住野 泰士 エグゼクティブ・オフィサー
車販売関連事業、店舗子会社経営指導担当

経森 康弘 エグゼクティブ・オフィサー
商品戦略推進担当

野上 明 COO
ストアサポートセンター長

松尾 隆 エグゼクティブ・オフィサー
経営戦略、経理・財務、広報、IR、法務担当

横井 英昭 エグゼクティブ・オフィサー
人事政策、組織開発、情報システム担当

湧田 節夫 エグゼクティブ・オフィサー
FC事業戦略担当

監査役 (※印は社外監査役)

小山 勝士 常勤監査役

森野孝太郎 常勤監査役*

吉田 治邦 常勤監査役*

小川 憲司 監査役

主要な事業所	本社 (東京都港区)
	北日本事業部 (仙台市泉区)
	北関東事業部 (千葉県市川市)
	南関東事業部 (千葉県市川市)
	中部事業部 (名古屋市名東区)
	関西事業部 (大阪府吹田市)
	南日本事業部 (福岡市博多区)
	海外事業部 (東京都港区)
	C@RS事業部 (神戸市中央区)
	U-PARTS事業部 (東京都港区)
	東日本ロジスティクスセンター (千葉県市川市)
	西日本ロジスティクスセンター (兵庫県美羹郡)

執行役員 (オフィサー)

エグゼクティブ・オフィサー

小平 智志 オートバックス事業開発担当

澤田 和良 車検ビジネス推進、サービス技術開発担当

志野 修市 出退店推進戦略担当

角倉 正親 スーパーオートバックス事業開発担当

武田 健一 マーケティング担当

オペレーティング・オフィサー

江本 吉弘 北関東事業部担当

釜田 尚文 南関東事業部担当

榎 宏介 関西事業部担当

小林喜夫 海外事業部担当

戸出 讓 北日本事業部担当

松村 晃行 南日本事業部担当

深山 義郎 C@RS事業部担当

森本 弘徳 中部事業部担当

森本 眞臣 U-PARTS事業部担当

「ザッツ ロイヤルチェンバーオーケストラ」コンサートシリーズ(全5回)に協賛

弊社は障害者ゴルフ大会への協賛のほかに、近年では「日韓フレンドシップ・コンサート」(2002年4月)、「日本フィルハーモニー交響楽団サマーコンサート」(2002年8月)など、音楽会への協賛も実施してきました。これに続く活動として、2003年11月にスタートした「ザッツ ロイヤルチェンバーオーケストラ」コンサートシリーズ(全5回)を、協賛という形で応援しています。

コンサート当日には、実際にカーオーディオに携わるお店のスタッフも客席に座り視聴しています。生の演奏に触れ、クラシックという普段あまり聴くことのないジャンルに親しむことは、今後お客さまにより幅広いご提案ができるように耳を鍛えるための良い機会となっています。また会場のエントランスにおいて、オートバックスグループのお店で取り扱っているヘッドユニットやスピーカーなどのカーオーディオをデモ展示し、音質にこだわりを持つクラシック音楽愛好者に、コンサートホールだけでなく車内でも良い音を楽しんでいただくご提案をしています。これらの活動が、さらなるオートバックスファン獲得にも役立てられるものと期待されます。



「ザッツ ロイヤルチェンバーオーケストラ」 コンサートシリーズ 公演日程

2004年	3月28日(日)	15時開演	憧れのシューマン
2004年	5月17日(月)	19時開演	リアル・ブラームス

※ 会場は全て東京オペラシティ コンサートホール(東京・初台)

チケットのお問い合わせは、下記プレイガイドへどうぞ
コンサートイマジン 03-3235-3777 チケットぴあ 0570-02-9990
ローソンチケット 0570-00-0407 イープラス <http://eee.eplus.co.jp>

オートバックスグループ ホームページのご紹介

弊社の企業情報サイトです。会社案内、IR情報、ニュースリリースなどを閲覧いただけます。

<http://www.autobacs.co.jp/>



IR情報

<http://www.autobacs.co.jp/seven/ir/>

- 財務ハイライト (月次情報、決算短信、有価証券報告書、アニュアルレポート、ファクトブック、株主通信、決算説明会資料)
- IR資料
- 株価情報
- 株主情報 (優待制度、株主メモ、FAQ)

オートバックスグループの各業態・各店舗や、商品や車検・整備などのご案内については、下記 URL より、オートバックスグループのポータルサイトをご参照ください。

<http://www.autobacs.com/>





新登場!!

あなたのカーライフをもっと魅力的に。

TOTAL CAR LIFE MasterCard®



入会金
年会費
無料

特典
1

ETCカードも入会金・年会費無料

TOTAL CAR LIFE MasterCard は、入会金が無料なのはもちろん、年会費も無料です。さらに有料道路の料金所をノンストップで通行できる、ETC専用カードも入会金・年会費無料です。

※ご利用された方で発行いたします。

2

ロードサービス付帯

万一のときの各種ロードサービスがほとんど無料で受けられます。

※TOTAL CAR LIFE MasterCardでお支払可能です。

※ロードサービスは、アコム(株)との提携により貸システム(株)が提供します。

3

各種工賃無料サービス

TOTAL CAR LIFE MasterCard をご提示いただくだけで、全国のオートバックス・スーパーオートバックスでオイル交換工賃・エアフィルター交換工賃・オイルフィルター交換工賃が無料となります。

※互換、オートバックスでのお買上のオイルのみ有効です。(一部特殊車両を除きます。)

4

お好きな賞品と交換できる、ポイントプログラム

TOTAL CAR LIFE MasterCard のご利用金額に応じてポイントが貯まります。ポイントに応じて、オートバックスの商品券や豪華賞品との交換ができます。



AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社 オートバックスセブン

東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル 〒108-8307